

info DRIVE ジャマガジン

Jamagazine

Japan Automobile

Manufacturers Association

日本自動車工業会 広報誌

JAMA vol.54
2020
[July]

7 月号



8月19日はバイクの日

資金調達支援に向けた「助け合いプログラム」

インタビュー

日本経済団体連合会 常務理事・SDGs本部長
長谷川 知子 「本業通り一番インパクト出せる分野が有効」

自動車業界「SDGs」の取り組み

自動車博物館関連施設紹介シリーズ

本田技研工業 / Honda ウェルカムプラザ 青山

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

| | | | | | |
|----------------------|--------------|-------------------|-----------------|----------------------|-----------------|
| 1 貧困をなくそう | 2 飢餓をゼロに | 3 すべての人に健康と福祉を | 4 質の高い教育をみんなに | 5 ジェンダー平等を表現しよう | 6 安全な水とトイレを世界中に |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 8 働きがいも経済成長も | 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10 人や国の不平等をなくそう | 11 住み続けられるまちづくりを | 12 つくる責任 つかう責任 |
| 13 気候変動に具体的な対策を | 14 海の豊かさを守ろう | 15 陸の豊かさを守ろう | 16 平和と公正をすべての人に | 17 パートナリシップで目標を達成しよう | |



JAMA

一般社団法人 日本自動車工業会

- 英国のEU離脱に伴い、本年12月末の移行期間終了時に英国は日EU EPAからも離脱することとなりました。
- これまでと同様のビジネス環境を維持する上で、今年内に日本と英国間で新たにFTAを締結する必要があります。
- 日本自動車工業会（JAMA）と英国自動車工業会（SMMT）は長年に渡って団体間交流を行い、友好・協調関係を構築してきました。両団体は共に自由貿易を推進し、日英FTAの重要性を認識していることから、6月9日の日英自由貿易協定交渉の開始発表に際して、両会長の連名により以下の通り、交渉開始歓迎の共同リリースを発表いたしました。

2020年6月9日

日英自由貿易協定交渉の開始について

一般社団法人 日本自動車工業会
会長 豊田 章男

英国自動車工業会
会長 George GILLESPIE

日本自動車工業会（以下、自工会）と英国自動車工業会（以下SMMT）は、日本政府と英国政府間において歴史的な自由貿易協定（FTA）の交渉が開始されることを歓迎いたします。

両国の自動車産業は、両国政府からの継続的なご支援を賜りながら、40年近くにわたり、深く互恵的な貿易、技術、投資の関係を構築してまいりました。

自工会とSMMTは、この長期的なパートナーシップを更に強化する上では、日EU経済連携協定（EPA）の条件に基づく新たな日英FTAの締結、及び移行期間終了後における同協定の速やかな履行が、日英両国の経済的繁栄に大きく資すると考えております。

JAMAGAZINE 2020年 7月号

発行日 2020年6月30日
発行人 一般社団法人 日本自動車工業会 広報室
発行所 一般社団法人 日本自動車工業会
〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 日本自動車会館
広報室 kouho2@mta.jama.or.jp

©禁無断転載：一般社団法人 日本自動車工業会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2



02

資金調達支援に向けた 「助け合いプログラム」

04

インタビュー

日本経済団体連合会 常務理事・SDGs本部長

長谷川 知子氏

「本業通じ一番インパクト出せる
分野が有効」

08

自動車業界「SDGs」の取り組み

10

with コロナ、クルマ社会を支える人々

12

『8月19日はバイクの日 HAVE A BIKE DAY』
特設サイトの開設及び
YouTube/TikTok動画コンテスト開催のご案内

16

自動車博物館関連施設紹介シリーズ

本田技研工業/
Hondaウエルカムプラザ青山

17

記者の窓

『「大黒柱」の先行き』

東京新聞 生島 章弘

1 日本経済団体連合会 常務理事・SDGs本部長 長谷川 知子氏

2 自動車業界「SDGs」の取り組み

3 with コロナ、クルマ社会を支える人々

4 『8月19日はバイクの日 HAVE A BIKE DAY』

5 本田技研工業 / Hondaウエルカムプラザ青山

●JAMAGAZINEは自工会WEBサイトからもご覧いただけます

[www.jama.or.jp/lib/
jamagazine/index.html](http://www.jama.or.jp/lib/jamagazine/index.html)



概要



自工会、 資金調達支援に向けた 「助け合いプログラム」を発足

自動車業界初の互助的な取組みで、
技術・人財・技能を守り抜く

目利きの力で、
日本のモノづくり基盤維持に貢献

自工会は6月23日、自動車業界初の取組みとして、新型コロナウイルス危機下における自動車関連企業の資金調達を支援するための「助け合いプログラム」(以下、本プログラム)を発足いたします。

■自動車工業4団体が力を結集

本プログラムは4月に実施した、自動車工業4団体(自工会、日本自動車部品工業会、日本自動車車体工業会、日本自動車機械器具工業会)での合同会見の場において、自工会豊田会長から「我々自動車業界が持つ目利きの力を使って、未来に向けて絶対に失ってはいけない要素技術や人財と、資本をマッチングさせていく互助的な取組み」の導入について言及されましたが、それを具現化したものです。

■融資の迅速化が可能に

本プログラムは、自工会より

は、一つひとつの要素
コロナウイルス危機下
いけない技術・技能・人
自動車関連企業の資金調
いたしました。

金融機関(三井住友銀行)に預け入れる預金を担保として信用保証を行う事で、資金調達を早期に必要とする自動車関連企業が、取引銀行から迅速に融資を受ける事を可能にする仕組みです。(図参照)

■「目利き」の力で早期支援

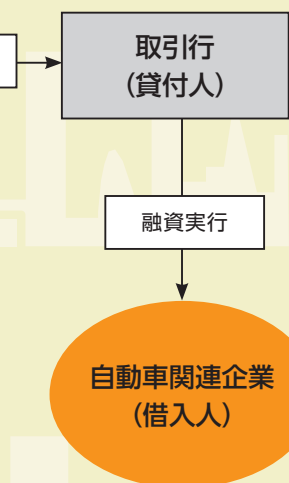
政府にてご用意頂いた様々な支援プログラムも活用いただき、当面必要な資金調達ニーズに迅速に対応するため、まずは自工会を主体として立ち上げ、他3団体と緊密に連携しながら、「目利き」力を発揮して、支援の早期実現を目指します。今後も業界内一致団結の上、コ

ナ危機の克服と日本経済復興の牽引役を果たしていけるよう、相互に支え合いながら努力を続けて参ります。

■オンラインで説明会を実施

今回、資金調達支援リリースの発表に伴い、報道機関に対し、オンラインにて自工会矢野理事・事務局長による説明会を実施し、本プログラムに取り組み意義や概要に関して丁寧に説明しました。「未来に向け、絶対に失ってはいけない要素技術と人財を守り、日本のモノづくり基盤を維持し続けていく」という豊田会長の想いを伝えました。

イメージ



◆ 助け合いプログラムの詳細

| | |
|-------------|--|
| 実施主体 | <ul style="list-style-type: none"> ● 一般社団法人 日本自動車工業会 |
| プログラムの対象 | <ul style="list-style-type: none"> ● 当面は自動車業界4団体の会員企業の内、新型コロナウイルスの影響により資金繰りに影響がある企業を対象(今後、非会員の自動車関連企業への拡大も検討) ● 自動車産業や日本のモノづくりにとって不可欠と考えられる開発/生産/製造の技術や商品の保有状況等を考慮の上、決定 |
| 資金使途 | <ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルスの影響による運転資金を想定 |
| 保証限度額 | <ul style="list-style-type: none"> ● 原則1億円 |
| 保証期間・返済方法 | <ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルスの影響に伴う短期的な融資を前提にしており、1年一括返済 |
| 金利・担保・連帯保証人 | <ul style="list-style-type: none"> ● 金利・担保・連帯保証人は、取引行が決定 |
| その他条件 | <ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルスの影響に伴う、「新規」の融資申込案件を対象にしています。 ● 取扱銀行の制限はありません。 |
| 申込方法 | <ul style="list-style-type: none"> ● 各会員企業様より、下方記載の所属団体窓口までお問い合わせください。手続き詳細や必要書類のご説明をさせていただきます。 |
| 問い合わせ先 | <ul style="list-style-type: none"> ● 一般社団法人 日本自動車工業会 tasukeai@mta.jama.or.jp ● 一般社団法人 日本自動車部品工業会 support@japia.or.jp ● 一般社団法人 日本自動車車体工業会 support@jabis.or.jp ● 一般社団法人 日本自動車機械器具工業会 jamta@jamta.com |

◆ 本プログラム全体に対するお問い合わせ先

一般社団法人 日本自動車工業会 tasukeai@mta.jama.or.jp

「助け合いプログラム」の

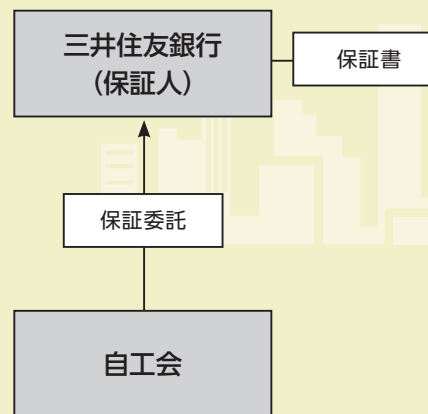


▲ 4月4日団体合同会見

裾野の広い自動車産業を支えているの技術と、高い技能を有した人材です。新型コロナウイルスにおいて、未来に向けて絶対に失っては財を守っていききたいという思いから、自達を支援するための本プログラムを発足

◆ 助け合いプログラム ワークフロー

【融資実行時】



※1 SDGs

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成される。

※2 MDGs

「Millennium Development Goals(ミレニアム開発目標)」の略称。極度の貧困と飢餓の撲滅など、国際社会共通の目標として2015年までに達成すべき8つの目標を掲げ、一定の成果を上げ、後継のSDGsに引き継がれた。

※3 デジタルトランスフォーメーション(DX)

デジタルによる変革を意味し、ITの進化に伴い「人々の生活をあらゆる面でより豊かに変化させる」という概念。2004年にスウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授が提唱したとされる。

※4 Society(ソサエティ)5.0

1狩猟社会2農耕社会3工業社会4情報社会に続く、IOTやAI、ビッグデータ、ロボットなどの革新技術が、あらゆる産業や社会で最大限活用される5番目の新しい社会。

※5 ブロックチェーン(分散型台帳)

ネットワーク内で発生した取引記録を1つの塊(ブロック)とし、時系列順でチェーンのようにつなぐ技術。複数に参加するコンピューター間でブロックを保持し、相互監視や協力しながら信頼性を維持している。元々は仮想通貨の基盤技術として考案されたが、現在ではサプライチェーンやサブスクリプションなど様々な分野において利用されている。

※6 ESG投資

Environment(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)の頭文字。財務指標とは別に、投資家の対象として「ESG」の観点を重視する投資傾向が広がっている。企業も持続的成長、中長期的収益につながるものと取り組みを強めている。

用語



日本経済団体連合会
常務理事・SDGs本部長

は せ が わ と も こ
長谷川 知子氏に

聞く

本業通じ一番インパクト出せる分野が有効

2015年9月の国連サミットで国際目標である※1SDGs(持続可能な開発目標)が採択されてまもなく5年が経過します。気候変動やイノベーションなど17の目標はすべて企業活動と密接に関わり、経営にSDGsへの貢献を組み込む動きが広がっています。日本経済団体連合会(経団連)は社会課題の解決と企業価値の創造を同時に達成するため、「創造社会」であるソサエティ5.0を提唱しています。このコンセプトはSDGsが実現した社会の姿とも一致し、多様な人々の想像力・創造力とデジタル技術の融合によって経済発展と社会課題解決の両立を目指すものです。お話を長谷川知子SDGs本部長に聞きました。

地球環境と経済成長の
持続可能性の主役は企業

「国連でSDGsの採択に至った背景を教えてください」

「リーマンショック後に世界経済が長期にわたり停滞したなかで、保護主義の動きやテロリズム、自由主義に対するアンチグローバルリズム、格差の拡大というものが出てきました。貧富の格差やテロリズムといったことがまん延すると、企業はグローバルな事業活動ができなくなります。また地球環境の持続可能性も必要で、地球環境と経済社会の持続可能性の確保に一体的に取り組むよう目指すなかで、国連におけるSDGsの採択につながりました」

「前身の※2MDGs(ミレニアム開発目標)との違いはどの点にありますか」

「MDGsとSDGsは少し立て付けが違います。MDGsは、どちらかというと最貧国や途上国の貧困問題を解決しようというのが主な目標でした。極度の貧困状態の半減や、HIVマリア対策などで一定の成果をあげたものの、やはり企業によって、うちには関係ないよねとなってしまったこともあり、期待されたほど

の成果はあげられませんでした。その反省に立つて、SDGsは「産業とイノベーションの基盤を作ろう」や「レジリエントなインフラの整備」など経済成長に関わる目標を盛り込むことで持続可能な経済成長を果たそうとされています。もちろん他の目標では「貧困をなくそう」など社会的包摂を指すことも掲げています。SDGsの17目標は、まさに企業がメインプレーヤーにならないと達成できません」

AIやIoT等の革新技術の活用とSDGsの関係とは

「経団連がソサエティ5.0の実現に取り組み理由は何でしょうか」

「※3デジタルトランスフォーメーション(DX)といわれるように、革新的な技術が社会や経済のあり方を全く違うものに変えようとしています。経団連が提唱している※4ソサエティ5.0というコンセプトは、人類の歴史が技術の発展とともに変化してきたことに着目したものです。最初の狩猟社会に始まり、農耕社会、工業社会、情報社会、そして今まさに21世紀に入って、IoT(モノのインターネット)、人工知能(AI)、※5ブロック

チェーン(分散型台帳 技術などの革新的な技術)によって第5番目の社会が到来しつつあります。よくAIやロボットに支配されるような社会というイメージがありますが、そうではありません。多様な人々が想像力創造力を発揮して、革新技術というツールを最大限活用することで、社会が直面している課題を解決し、新しい価値を提供するというのがソサエティ5.0のコンセプトです」

「SDGsとどういった関係があるのでしょうか」

「SDGsでは、誰一人取り残さない豊かで幸せな生活と持続可能な地球環境を実現するための17の目標が設定されています。経団連が実現を目指すソサエティ5.0とSDGsが達成された社会の姿は合致しているため、経団連では『Society5.0 for SDGs』を基本方針として活動を進めています」

持続可能な社会実現のため求められる企業の行動原則

「経団連にSDGs本部を立ち上げた経緯を教えてください」

「以前は教育CSR本部という名称でした。基本は人材育成とCSRを担

当する本部で、現在も担当業務の内容は変わっていません。ただ、CSRは企業が社会に対してどうい責任を負っているかという意味合いで、コンプライアンスのイメージが強いのに対してSDGsは企業の持続的成長と地球環境の持続可能性を両立させて、企業も利潤を得て成長しながら、社会課題を解決しようというコンセプトです。このように捉え方が少し変わったので名称をSDGs本部にしました」

「経団連の企業行動憲章を見直したのはなぜですか」

「企業行動憲章は経団連が会員企業に順守を求めた行動原則です。これまでにも何度か改訂してきましたが、17年にSociety5.0 for SDGsという考え方を柱に全面改訂しました。企業は社会に有用な付加価値と雇用の創出維持をすることも、そうした行動を通じて持続可能な社会の実現をリードするという意味を込めて見直しました」

「SDGs本部の活動例を教えてください」

「経団連のSDGs特別ウェブサイトに会員各社のSociety5.0 for SDGsの取り組み事例を掲載し

ています。例えば、飢饉を終わらせるという目標に対して、多くの会員企業が途上国の栄養改善に取り組んでいます。これらの企業同士がコラボレーションすることで更にいろいろな可能性が広がるんじゃないかということ事例集を作りました」

SDGsに貢献する企業しか今後は生き残れない

「SDGsが採択されてから5年経ちますが、日本での浸透状況をどう見ますか」

「採択から20年ぐらいたった間は周知・広報の期間と位置づけられます。日本では教育機関もSDGsに熱心で、大学生の間の認知度も高まっています。SDGsは地球と社会、ビジネスとまさに三方よしの考え方に基ついており、この発想は日本人にはしっくりくるのではないかと感じます。他方、20年からの10年間は成果を出すことが求められます。SDGsの目標では、30年までに世界の貧困を半減するといった具体的なKPIを示しており、それらを達成しなくてはなりません。これ迄の達成状況について昨年公表された国連事務総長のレポートでは、一部の目標では進展があるものの、最も貧しく脆弱な立場



の国や人々が取り残されており、取り組みの加速が必要だと指摘しています。30年までに目標達成するにはあらゆるステークホルダーの行動の加速が必要です」

「SDGsとの関連で最近注目されている社会的インパクト評価は、社会課題の解決を目指す各社の取り組みが生み出す成果を測定・評価する試みです。サステナビリティ報告書やIR報告書に活動の成果を掲載して、投資家がそれらの取組みをESGの側面から評価して、もっと投資するというサイクルが生まれれば、SDGsに向けた企業の取り組みもさらに加速する」という好循環を生み出せます」

「経団連として、SDGsへの取組みをさらに加速しようとしていた矢先に新型コロナウイルスのグローバルでの感染拡大の問題が出てきました。今後、会員を対象としたアンケート調査を通じて企業の現状の考え方やコロナによって事業計画や経営戦略がどう変化するかを調査した上で、方針を検討していきます」

—企業はSDGsの目標達成にどう貢献していけばよいのでしょうか

「SDGsで掲げる17の目標は事業活動のすべての領域をカバーしているため、自動車を含めどの企業もSD

Gsには知らないうちに取り組んでいるのです。この地球規模の目標に対して、それぞれの企業がバリューチェーンを通じて一番影響力を発揮できる分野で取り組んでもらうことが、一番効果を出せます。電力会社だったら電力の供給に関わる分野、自動車会社だったらモビリティの面で活動を進めるといことです。国連も、企業には、本業を通じて一番インパクトが出る分野で取り組みを進めてほしいと呼びかけています。一方、企業側の取り組みを評価してほしいということに対しては、国連開発計画(UNDP)がSDGsインパクトシールという認証を与えるという動きが出ています」

—※ESG(環境・社会・統治)投資も重視されています

「投資家が企業の短期的な株主利益だけではなく、より環境や人権などに對する取り組みを評価しますということを全面的に打ち出せば、企業もそれらの分野で行動しやすくなります」

—SDGsの取り組みを通じて企業価値はどう変化しますか

「デジタル化とグローバル化の流れはだれも止められませんが、今後ま

ずます加速します。消費者の価値も変わり、昔のように大量消費で安ければいいという考えから、個人の嗜好性が強くなってきます。特に若い人はサステナビリティに対する価値観を重視しているので、それにうまくマッチした商品やサービスの提供が大事になります。SDGsの達成に貢献すると言えた企業が勝ち組であり、そついう企業しか生き残れないでしょう」

—コロナ禍で企業のSDGsの取り組みは変わりますか

「ウィズコロナ、ポストコロナの時代はグローバル化とデジタル化がさらに進展します。現在は人の流れが停滞していますが、各企業は今回のコロナの影響を受けて、よりレジリエンスを重視したサプライチェーンへと見直しています。どこか一国に頼るのではなく分散させ、互いに補完し合える形にすることで、サプライチェーンがさらにグローバル化します。また、テレワークなど、デジタル化も非常に進みました。経団連では「コロナが収束した後も、半分くらいの会議は今後もオンラインでやりたいよね」となっています。ソサエティ5.0の世界により近づいているのです。今の混乱した状況下でSD

Gsの取り組みは一時的に中断していますが、長い目で見ればSociety 5.0 for SDGsの動きはさらに重要になり、その波に乗っていける企業だけが生き残れるのです」

誰もが安全に移動できるモビリティの実現を

—自動車産業はSDGsに対してどのように取り組むべきでしょうか

「自動車業界にSDGsの取り組みで期待することは、誰一人取り残さない社会のためのモビリティを確保することです。例えば、高齢化や過疎化した地域でも自動運転やシェアリングを使って安全な移動手段を提供することが挙げられますし、ユニバーサルデザインをもっと取り入れるということもあります。環境負荷が低いモビリティの提供もそうです。企業間の連携やプラットフォームの構築を通じて、未来都市の姿をきちんと提示してもらうことに非常に期待が高まっています」

SDGsは世界全体で取り組むべき課題

—自動車業界では本業以外の分野にも活動を広げていますが、この積極的

水質、森林、土地劣化、生物多様性などのモニタリングおよびマネジメントに、リモートセンシングデータや、海洋観測データを活用

スーパーコンピュータを用いて、気象観測データの解析に基づくシミュレーションにより、気候変動問題を解決

利便性、安全性、経済性を両立させたスマートな都市を創出

産業界、学界、その他のステークホルダーを結びつけることで、グローバルなイノベーションエコシステムを構築

i-Constructionを活用し、レジリエントなインフラの構築と持続可能な産業化を促進

15 陸の豊かさも守ろう

14 海の豊かさも守ろう

13 気候変動に具体的な対策を

12 つくる責任 つかう責任

11 住み続けられるまちづくりを

10 人や国の不平等をなくそう

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

8 働きがいも経済成長も

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

2 飢餓をゼロに

IoT、AI、ビッグデータを活用したスマート農業により食糧生産を増大。最先端のバイオテクノロジーを用い生産されたスマートフードにより栄養状態を改善

3 すべての人に健康と福祉を

多種多様なモニタリングデータを組み合わせ、感染症予防のための早期警戒システムを開発

4 質の高い教育をみんなに

最先端の技術を活用したeラーニングシステムを用いることで、地球上の誰もが高品質の教育を手頃な価格で享受可能に

5 ジェンダー平等を實現しよう

インターネットを通じた教育や情報へのアクセスにより女性の地位を向上ICTを活用して女性に起業の機会を提供

6 安全な水とトイレを世界中に

スマートグリッドシステムの構築による持続可能な電力需給の管理



◆ Society 5.0 for SDGs

経団連はSociety5.0の実現を通じたSDGsの達成を目指しています。図に示すように第一歩となる商品・サービスなどの各種革新技術と多様なステークホルダーとの連携、明確な目標・ターゲットが有機的に結びつき合うことで、「Society 5.0 for SDGs」が実現します。

SDGs特設サイト

<https://www.keidanrensdgs.com/>

国際目標に対し、経団連として企業にどのように取り組みを呼びかけしていきますか

「SDGsの意識は経営層にもかなり浸透しています」

「例えば、インドの学校にトイレを提供する活動や、カンボジアで生産管理システムを病院経営の改善に活用するという活動もあります。企業によつては本業を通じてさまざまな目標に貢献するという考えもあります。逆に、集中的に何か一つの目標に絞つて多額の投資をして大きなインパクトを出すという方針もあり、みなさん試行錯誤しています」

「企業経営者のリーダーシップも重要でしょうか」

「企業行動憲章の最後の部分が含まれている点を強調しており、10条は主語が経営トップとなっています。SDGsの達成に向けて本業を通じてインパクトの高い取り組みをしようとしたら、経営決定が必要になります。中期経営計画に盛り込んで投資家に評価してもらわないとインパクトの高い活動に繋げることは難しいでしょう。それには経営トップのリーダーシップが不可欠です。現在、SDGsの意識は経営層にもかなり浸透しています」

「SDGsで掲げる17の目標は先進国・新興国を問わず、すべての国が目指すもので、世界全体で取り組んでいかなければいけません。大企業だけでなく中小企業も加わり、それぞれの特徴を生かして活動していくことが必要です。大企業に求められるのはグローバルな事業の展開力、資本力やイノベーションを生かした取り組みであり、地元を中心に活動する中小企業に求められるのは、地域社会にあるさまざまなNPOや地方自治体、学校などと連携しながら地域を良くする活動を続けることです。各主体の特徴に合わせて一番効果が高まるやり方で進めていくことを期待します」

PROFILE

一般社団法人日本経済団体連合会 SDGs本部長。上智大学大学院外国語学研究所国際関係論修了(修士)。米国コロンビア大学大学院国際公共政策大学院(SIPA)修了(修士)。経団連(当時)事務局入局後、国際経済本部(北米、欧州、豪州担当)、広報部、国際経済本部北米・オセアニアグループ長、社会広報本部長(企業行動・CSR担当)、教育・スポーツ推進本部副本部長(教育・人材育成担当)、教育・CSR本部長を経て、2017年4月より現職。20年6月常務理事。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

コロナ禍で加速、改めて「持続可能な社会づくり」を考える



自動車業界の取り組みですが、最も事業と直結するテーマが《③すべての人に健康と福祉を》のターゲットである「交通事故の削減」や《⑬気候変動による温室効果ガスの削減》ではないでしょうか。各社は先進運転支援機能の拡充や電動化技術の普及などによる課題の解決を進めています。

一方でこうしたテーマは、SDGsとは関係なく、自動車産業の歴史の中で常に業界各社が対策に取り組んできた課題でもあります。100年に一度の大変革期を迎えた今、自動車を含むモビリティに期待される「移動」の役割はより大きくなってきています。そうした意味で、近年自動車メーカーの意識が高まっているのが《⑪住み続けられるまちづくりを》といえるでしょう。

国連が2015年に掲げて以降、日本の企業にも広がってきた「SDGs」。自動車メーカーも事業領域に密接にかかわる温室効果ガスや交通事故の抑制をはじめ、さまざまな社会問題の解決に積極的に取り組んでいます。世界的に広がった新型コロナウイルスは、世界経済や人々の生活に大きな影響を与えましたが、改めて「持続可能な社会づくり」を考え直すきっかけにもなりました。自動車メーカー各社の取り組みもコロナ禍を一つの契機にさらに加速していきそうです。

■災害に強いまちづくりに活用

例えば、トヨタ自動車の次世代電気自動車「e-Palette」は「e-Move for All（すべての人に移動と感動を）」をコンセプトとしており、時には物流や物販時には移動が困難になった高齢者の方の足として最適な機能が搭載されています。トヨタは今年1月にもスマートシティ「ウーブン・シティ」の構想を発表しており、新たな移動技術だけではなく、街やコミュニティケーションのあり方を見つめ直す大きな実験を行っていく考えです。大型台風が相次いだ昨年は、各社が電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド車（PHV）などを活用し、電動車による給電を実施。災害に強いまちづくり

◆自動車メーカーの動向

③ すべての人に健康と福祉を

ここでのターゲットの一つが「交通事故の削減」です。日本での交通事故死者の数は、ピークの1万6765人(1970年)と比べて約5分の1にあたる3215人(2019年)に減少していますが、依然として多くの尊い命が交通事故で失われています。

最終的な目標は「交通事故死者数ゼロ」です。今年1月、スバルの中村知美社長は報道陣向けに開いた自社の技術ミーティングで「2030年に本気で死亡事故ゼロを目指す」と宣言し、改めて安全を最優先にした商品開発を推進する考えを示しました。スバルを含む自動車メーカー各社は、先進運転支援技術の普及や衝突時の被害を軽減するパッシブセーフティ、自動運転の技術開発を進めています。最新技術を新車に搭載するだけでは普及に時間がかかるため、自動車メーカー各社は後付け安全装置も積極的に展開しており、新車と後付けの両輪で交通事故の抑止を加速する考えです。

⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに

電動車のメリットを最大限に引き出すためには、生産時の二酸化炭素(CO2)排出量を削減することも必要です。三菱自動車は三菱商事と共同で岡崎製作所(愛知県岡崎市)に出力3メガワットの太陽光発電設備とPHEV100台分の使用済み電池を使用した発電量1メガワット時の蓄電池システムを2020年度内に稼働させます。発電、蓄電した電力は岡崎製作所で使用し、年間約1600トンのCO2削減と電力消費のピークカットにつながれるといえます。また、脱炭素社会を目指す経団連の枠組み「チャレンジ・ゼロ」には複数の自動車メーカーが参画しており、CO2の削減に力を入れる意思を表明しています。

⑫ つくる責任つかう責任

環境に優しい自動車を作るために貴重な資源を大量に消費し続けるのであれば本末転倒です。コスト低減の観点からも廃棄物の再資源化に向けた取り組みが進んでいます。

例えば日産自動車が進めるのが電気自動車「リーフ」に搭載したリチウムイオン電池の二次利用です。2018年に住友商事との共同出資会社で中古電池を再生する日本初の事業所を福島県に開設しました。再生電池を安く販売しているほか、使用済みバッテリーを再生した街灯を幹線道路に設置するプロジェクトを展開するなどEV用電池の活用方法を模索しています。

⑬ 気候変動に具体的な対策を

このターゲットである「温室効果ガスの削減」は、自動車業界に最も身近な課題といえるでしょう。全各社は電動化技術の開発や普及をはじめとする取り組みを推進し、二酸化炭素の排出量削減に努めています。全てのメーカーが取り組んでいる課題ですが、乗用車と比べて移動距離が長いトラックやバスは環境貢献度のインパクトが大きいカテゴリーといえるかもしれません。

ただ、商用車は量産効果が見込みにくく、使用方法も特殊なため、乗用車よりも電動化が難しい領域でもあります。商用車メーカーは電動車両の開発に力を入れていますが、海外企業やグループ企業も含めて他社との連携を加速し、さらなる環境貢献を図る考えです。

一方、二輪車も電動化に向けて競合他社との連携を深めています。二輪車メーカーは電動二輪車用交換式バッテリーの標準化に向けたコンソーシアムを設立し、電動バイクの普及に取り組んでいます。



に自動車を活用する取り組みが広がっています。

■コロナ感染防止にも挑む

新型コロナウイルスによる未曾有の危機に対して自動車メーカーの代表者らは口々に「自分達にできることをやっけていく」と述べ、実際に感染拡大の

防止に向けた取り組みを迅速に展開しました。今回のコロナ禍は、人々の生活を守るために自動車メーカーだから出来ること、自動車メーカーにしかできないこと、自動車メーカーがやらなければならないことが明確になりました。持続可能な社会を作るため、SDGsの取り組みが一段と進みそうです。

with コロナ、クルマ社会を支える人々

カーディーラーは感染予防策を実施 営業継続が人々の暮らしを支える



車両には直接触らない



レンタカーの店舗では透明スクリーンなど従業員の保護にも努める

新型コロナウイルス感染症拡大の脅威が深刻です。経済的な打撃に加え、人々の日常生活そのものを脅かしています。未曾有の状況に対して、国民の暮らしを支える自動車業界は、一丸となって感染症の予防に尽力しています。製造・物流分野とともに自動車流通分野も早期に感染症対策に着手。新車販売サービス、レンタカーの各現場はこれまで培ってきたノウハウや仕組みを活かし、ショールームや整備工場などで万全の対策を構築すべく、奮闘しています。コロナ禍で、人々の暮らしを支える自動車業界の最前線に迫りました。

「ショールーム・商談」

■現場の機敏な対応と工夫

感染症拡大に対して、全国の新車ショールームは機敏に対応しました。従業員のマスク着用や手洗いの徹底、施設内の除菌の徹底とともに感染拡大防止のための店づくりも急ピッチで

進めました。

ソーシャルディスタンス(社会的距離)の確保や「3密」(密集・密接・密閉)の回避を大前提に

ショールームの風景が変わっています。接客時に来店客との距離を最低1メートルは確保するようになり、商談用テーブルの間引きや使用禁止措置も実施しています。入口の自動ドアは常に開放



3密回避でショールーム風景が変わった

状態にし、店内の換気を徹底。半個室のクロージングルームは極力使用せずに、オープンスペースのテーブルに優先的に案内するなど接客方法も変えめました。来店客同士の接触を防ぐために、不特定多数が利用する新聞や雑誌を撤去するといった工夫も随所に施しています。

■子連れでも安心な店舗

販売店では子連れの来店客への配慮も見られました。キッズスペースは継続して開放した店舗が多かったようです。あるディーラーは、唾液などが付着



スペース全体をアルコール除菌



商談用テーブルの間引きや使用禁止を実施



来店客との距離を最低1メートル確保

■車両に直接は触れない

サービスも同様に対策を積

「サービス工場」

して感染拡大要因になりうる給本やおもちゃをすべて撤去し、感染リスクを除去しました。使用後には、同スペース全体をアルコール除菌し、子どもが安心して遊べる衛生環境を整えています。従前、販売現場は来店客へのサービス向上を試行錯誤してきました。この意識は感染症対策でも発揮されています。「今まで経験のない取り組みでしたが、何が必要かを従業員全員で追求しました」という販売現場からの声もありました。

■顧客と従業員を守る

の削減に取り組んでいます。あ

「レンタカー店舗」

み重ねました。多くのメカニックが作業中も含めて常にマスクを着用しています。現場スタッフは「営業スタッフに比べ、メカニックは接客する機会が少ないですが、お客様に安心してもらうために着けています。作業ではメカニック同士の距離が近くなることもあり、マスクの着用により従業員間での感染防止も図れます」と話しました。

■社会、お客様のために

中には感染症対策の一環で営

「ポストコロナに向けて」

いでしたが、「3密」を避ける目的からカウンターを増設し、各社のスペースを広く取るなど配置を変更しました。このうちトヨタ系のレンタカー店では、透明のスクリーンやフェイスマスクを使い、顧客だけでなく従業員の保護にも努めています。

■自動車業界の最前線として

り続けています。

「自動車の業界」

業時間を短縮するショールームが全国で相次ぎました。事態が一層緊迫化する中、あるディーラー担当者は「書類への直筆サインが必須で顧客が来店させるを得ない場面などを洗い出し、必要に応じて対策を打ちました」と販売現場も対応水準をより高めました。



バイクの日オリジナルCM公開



バイクの日2020サイト

『8月19日はバイクの日 HAVE A BIKE DAY』 特設サイトの開設及び YouTube/TikTok動画コンテスト開催のご案内

一般社団法人 日本自動車工業会(会長…
豊田 章男)は、一般社団法人 日本二輪車普及
安全協会(会長…伊東 孝紳)との共催により、
『8月19日はバイクの日 HAVE A BI
KE DAY』の特設サイトを開設し、YOU
TUBE/TikTok動画コンテストを開催
いたします。

6月より、特設サイトにおいては、交通安
全におけるポイントやバイクの有用性・利便
性などを紹介するとともに、YouTubeや
若者(特に10代)の利用が多いTikTokに
おいて動画コンテストの募集を行います。多
くのご応募お待ちしております。

(※ダンス動画は、新型コロナウイルスの感染拡大防
止のため、3つの密(密閉、密集、密接)を避けての
作成をお願いします。)

『8月19日はバイクの日 HAVE A BI
KE DAY』の活動は、1989年に政府が
二輪車の交通事故撲滅を目的に制定した「バ
イクの日(8月19日)」に合わせ、二輪車ユー
ザーをはじめ広く一般の方々へ、交通安全意
識の啓発とバイクの日の社会的認知の向上
を図るとともに、バイクの有用性、利便性及
びバイクの楽しさ、魅力を発信するものです。

『8月19日はバイクの日 HAVE A BIKE DAY』概要

- 主催：一般社団法人 日本自動車工業会、一般社団法人 日本二輪車普及安全協会
- 後援：内閣府、警察庁、一般財団法人 全日本交通安全協会、
一般社団法人 全国軽自動車協会連合会、一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会
- 訴求テーマ：交通安全意識の啓発、「バイクの日(8月19日)」の認知度向上、マナー向上
バイクの有用性、利便性、楽しさ、魅力の発信
- 実施内容/実施期間：●YouTube/TikTok動画コンテスト
 - 応募期間 2020年6月1日(月)～7月10日(金)
 - 最優秀作品発表 2020年8月19日(水)
 - 特設サイトの開設 2020年6月1日(月)より公開
URL:<http://bikeday2020.com>



〈問い合わせ先〉 8月19日はバイクの日 HAVE A BIKE DAY事務局
TEL:03-6418-7597 / Mail:info@bikeday2020.com
〈主催者連絡先〉 日本自動車工業会 広報室 (TEL:03-5405-6179)
日本二輪車普及安全協会 (TEL:03-6902-8190)

YouTube/TikTok動画コンテスト

応募期間 2020年6月1日(月)～7月10日(金)

最優秀作品発表 2020年8月19日(水)

※応募にあたる注意事項、応募規約等詳細は、特設サイト「8月19日はバイクの日 HAVE A BIKE DAY」(<http://bikeday2020.com>)をご覧ください。

※ダンス動画は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、「3つの密(密閉、密集、密接)」を避けての作成をお願いします。

(1) YouTube動画コンテスト

<http://bikeday2020.com/youtube/>

■応募条件：以下の①もしくは②の条件を満たしている作品。

①特設サイト掲載の

『バイクの日のうたーYouTube版ー』に

合わせたダンス動画作品

『バイクの日のうたーYouTube版ー』

ダウンロードURL：<http://bikeday2020.com/dl-song>

②自主制作のオリジナルソングに合わせたダンス動画作品

■応募方法：特設サイトからの応募に限る。

■受賞者特典：表彰状と副賞(10万円相当)を授与。

また、応募作品をバイクの日2020CMとしてYouTubeインストリーム広告配信。



(2) TikTok動画コンテスト

<http://bikeday2020.com/tiktok/>

■応募条件：以下の条件を満たしている作品。

①TikTokアプリにて、バイクの日公式アカウント(@819bikeday)をフォロー

②『バイクの日のうたーTikTok版ー』に合わせたダンス動画作品

■応募方法：TikTokアプリにて、「#バイクの日2020」をつけて投稿。

(ハッシュタグ(#)のついていない投稿は無効とさせていただきます)

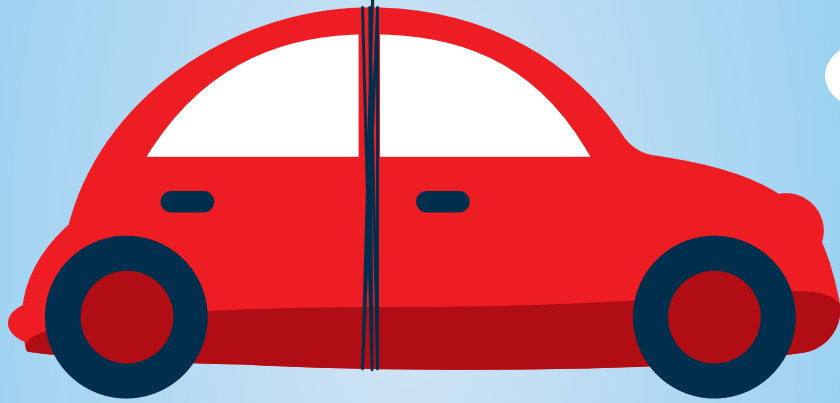
■受賞者特典：表彰状と副賞(5万円相当)を授与。

また、応募作品をバイクの日2020CMとして、都内の大型モニターで上映。



\自動車の/
取得時にかかる **環境性能割**

税率 **1%** 軽減!



6ヶ月延長

..... (自家用自動車のみ)

2021年3月31日まで

政府の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策により、自動車税・軽自動車税
「**環境性能割**」の臨時的軽減措置の期限が**6カ月間延長**されました。

日本自動車工業会 日本自動車販売協会連合会 全国軽自動車協会連合会
日本自動車輸入組合 日本中古自動車販売協会連合会

65歳以上の方対象

※令和2年度中に65歳以上となる方

サポカー 補助金制度 始まりました。

対歩行者衝突被害軽減ブレーキ搭載車の購入等を支援します!

登録車(新車)

最大 **10** 万円

軽自動車(新車)

最大 **7** 万円

後付け装置

最大 **4** 万円

中古車

最大 **4** 万円

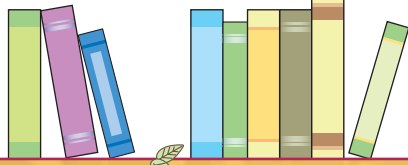


お問い合わせはこちら

コールセンター 0570-05-8850

受付時間 9:00~17:15
(土・日・祝祭日休み)

日本自動車工業会 日本自動車販売協会連合会 全国軽自動車協会連合会
日本自動車輸入組合 日本中古自動車販売協会連合会



CAR Manufacturer
自動車博物館 関連施設
 紹介シリーズ

本田技研工業／Hondaウエルカムプラザ青山



「ワイガヤの木」

誰でも気軽に立ち寄れる、憩いの場

Hondaウエルカムプラザ青山は1985年8月19日にオープン。そして今年1月18日に「開かれた憩いの場」という想いはそのままに、より開放的で居心地の良い空間にリニューアルしました。メインエントランスではHonda事業所がある世界各国の植物が集まった「ワイガヤの木」が、お客様をお迎えます。「ワイガヤの木」は、種類の異なる木が根をはり合うことでお互いがより強くなるという考え方から、それぞれが自由に意見を出し合うことによる多様性を表現しています。

※「ワイガヤ」とは、役職や年齢、性別を越えて気軽にワイワイガヤガヤと話し合う、Honda伝統のコミュニケーションのことを指します。

展示情報

クルマ、バイク、パワープロダクト、HondaJetと、Hondaの幅広い製品や先進技術の展示、イベントなどを通じて、お客様に「生活の可能性が広がる」体験を提供します。ホンダコレクションホールからの出張展示も行っています。



開放的なウッドとグリーンに囲まれた内装



ウエルカムプラザ外観

MILES Honda Cafe

お客様と一緒にこれからも前に進んでいくHondaの想いを「MILES」という言葉に込め、より立ち寄りやすく、憩えるカフェを目指して空間設計しています。世界各国のF1開催地にちなんだサンドウィッチや、「宗一郎の水」を使って入れたオリジナルコーヒーなど、Hondaならではのメニューを用意し、憩いのひとときを彩ります。



こだわりのコーヒーとサンドウィッチ

ショップ

ウエルカムプラザならではの幅広い品揃えのHondaグッズを用意し、様々なお客様のニーズに応えるショップを目指しています。店内は「眺めているだけでもワクワクする場」をコンセプトに、Hondaゆかりのアイテムで装飾しています。



Honda社食のカレーうどんの素

Honda
ウエルカムプラザ
青山



インフォメーション

所在地 Hondaウエルカムプラザ青山

住所: 〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1 Honda青山ビル1階
 TEL: 03-3423-4118

- 開館時間 11:00～16:00 (短縮営業中)
 *6月15日現在、MILES Honda Cafeはメニューを限定し、お持ち帰りのみで営業しております。
- 休館日 GW、夏季休業、年末年始
- 最寄り駅 東京メトロ銀座線、東京メトロ半蔵門線、都営大江戸線
 →「青山一丁目」駅 下車5番出口すぐ
- 設備 多目的トイレ、授乳室、オムツ交換台、貸し出し用車いす、EV充電

※変更になる場合はTOPページにてお知らせします

【資料・画像等提供一本田技研工業】

●アクセス 左のQRコードからルート案内を表示できます(Googleマップ連動)





東京新聞

いくしま あきひろ
生島 章弘

「大黒柱」の先行き

● 新聞記者にとって、自動車は駆け

出し時代を思い起こさせるものではないでしょうか。多くの会社で新入社員は地方に配属され、自ら運転して事件・事故や政治・行政、イベントなど幅広い取材現場に向かいます。

● 私も1999年夏に千葉県の支局へ赴任し、親から譲り受けたセダンや自分のお金で初めて買った中古のステーションワゴンで、地図をめくりながら東奔西走する日々でした。今でも時折、当時乗っていた車を思い出すことがあります。燃費は悪く、故障がちだったので、苦楽を共にするパートナーのような存在でもありました。

● それからちょうど20年経った昨年夏、自動車業界を担当することになりました。取材の一環で各メーカーの最新モデルなどを試乗するたび、驚くことばかりでした。東京で仕事をやるようになってしばらくはマイカーを持つていなかったこともあり、カーナビの便利さすら新鮮だったのですが、CASEEという聞き慣れない造語で表される技術やサービスの

進化は想像以上でした。

● 声を認識して車内の空調設備を動かしたり音楽を流したりする機能や、自動運転の前段階の「運転支援」に位置付けられる高速道路上の手放し走行などを実際に体験し、レベルの高さに舌を巻きました。街に出れば、電気自動車を見かけることが多くなり、カーシェアリングの看板は至る所にあります。

● 自動車の概念を大きく変えるインパクトやダイナミズムを感じ、期待が膨らむ一方、「クルマ」がこの先、全くの別物になってしまうような一抹の寂しさを覚えたのも事実です。「数ある工業製品の中で『愛』が付くのは車だけ」とは、日本自動車工業会会長の言葉ですが、どんな時代になっても感情移入できる一台をつくり続けてほしいと、一人のユーザーとして願っています。

● もっとも、CASEEを巡る開発競争は自動車メーカーやサプライヤーの枠にとどまらず、米国のGAFAや中国のBATHTといった巨大IT企業も巻き込んで熾烈さを増して

います。この一年だけでも数多く見られた業界内の合従連衡や異業種との連携強化の流れは止まりそうにありません。「百年に一度の大変革期」への対応を誤れば、波にのまれ、淘汰されてしまうこともあり得る厳しい時代の真つただ中にあるのだと思います。

● 自動車は日本経済の「大黒柱」と言われます。経済産業省の資料によると、製品出荷額は全製造業の2割を占め、関連産業を含めて550万人の雇用を支えています。業界の先行きが、国民生活そのものにも大きな影響を与えるのは間違いないかもしれません。

● 記者のものには日々、製品やサービスなどさまざまな情報が届きますが、多くは記事になりません。ただ、世間の耳目を集める話題ではなくても、一つ一つに各社の現状認識や、将来を見据えた経営戦略などが反映されているはず。それを深く掘り下げ、読者に伝えていくことは、今後の日本社会を考える上で重要なことだと思っています。



あっ!

まさか!

とっさに!

つい!

うっかり!

気をつけて! ブレーキと アクセルの踏み間違い

急ぐときほど落ち着いて。余裕をもった運転を心がけましょう

詳しくはWebで



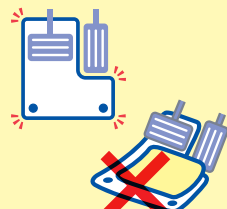
エンジンを掛ける前に、
落ち着いて、ペダルの位
置を確認しましょう。



バック時、料金所での支
払時、体をひねると足が
ズレやすいので要注意。



厚底・サンダル・ヒール
など、運転に適さない
靴・履物は避けましょう。



フロアマットはクルマに
合ったものを使い、重ね
敷きはやめましょう。



あなたの安全運転を支援する「安全運転サポート車(サポカー)」。
その機能を正しく理解し、過信せず、安全運転を心がけましょう。

JAMA 一般社団法人 日本自動車工業会
JAPAN AUTOMOBILE MANUFACTURERS ASSOCIATION, INC.
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館
[安全運転講座ページ] <http://www.anzen-unten.com>